



「今年も健康で元気に」

皆野町長 石木 道也

新年明けましておめでとうございませう。町民の皆様におかれましては、ご家族おそろいで輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年は、北京オリンピックの日本選手の大活躍と日本人研究者4名が同時にノーベル賞を授賞という快挙に日本中が歓びに沸きました。

また、皆野町出身で日本芸術院会員であり現代俳句協会名誉会長の金子兜太氏におかれま

込みに対する緊急経済対策に懸命に取り組んでいるところであり、その効果が望まれるところでもあります。

町におきましては、6月議会において「秩父市との合併推進を早期に具体的に進めるべき」とする議会決議を受け、6月19日に、町長、議長連名で秩父市に合併を申し入れました。その詳細は広報等でお知らせのとおりですが、12月に両市町の議員、職員による「秩父市、皆野町合併研究会」を設置し、法定合併協議会設置に向けて、より丁寧に着実に推進してまいります。また、継続事業として取り組んでまいりました、皆野中学校

校舎も完成し3学期から新校舎で授業が始まります。

本年も、限られた予算ではありますが、子育て支援、介護予防事業、特定保健指導等を引き続き推進すると共に、道路整備についても地権者の協力のもと積極的に取り組みます。また、重度の救急患者に対するドクターヘリによる搬送体制の強化のため専用のヘリポートを整備し、町民の安心の向上に繋げてまいります。

町民の皆様が力強いご支援とご協力をお願い申し上げますと共に、益々のご健勝とご多幸を祈念申し上げ年頭のあいさつといたします。

賀正



「共に考え共に歩む町づくり」

皆野町議会議長 四方田 忠 則

新年明けましておめでとうございませう。町民の皆様にはご家族おそろいで新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年中は町民の皆様のご指導とご支援を賜り、新しい体制での議会活動を推進することができました。心から感謝し、改めて厚く御礼を申し上げます。

我が国の経済情勢は、金融危機の影響で国内経済が悪化し、景気の落ち込みから企業の資金調達や雇用問題など厳しいものがありますのでこの情勢が早期

に回復するよう願うものです。平成11年から始まった「平成の大合併」で、埼玉県では92あった市町村も、40の市と29の町、1つの村に減少しています。

本町におきましては、既に皆様ご承知のとおり、昨年の6月定例会に於いて、議員発議による「秩父市との合併推進を求める決議」が提案され、9対2で可決したことから、町長と連名で秩父市に合併の申し入れを行い、その後、「新合併特例法」の期限である平成22年3月まで

の合併を目指した編入合併を前提とする協議を進めるよう申し入れをいたしました。

現在、合併をより慎重に進める為に両市町の議員を中心とする合併研究会を設置して、合併に関する基本的な問題等について調査研究に取り組んでいるところです。

また、秩父市との単独合併には時間をかけて慎重に進めるべきとの請願も出されております。皆野町・長瀬町は行政の中で大変重要である上下水道事業も共同で実施しており、その調整協議も不可欠であると思われま

んでまいりますので、町民の皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

さて、安全で安心できる教育環境の整備を実施してまいりました、老朽化の激しかった皆野中学校の校舎改築事業も諸施設の整備が図られ、素晴らしい教育環境が作られています。これを機会に生徒諸君におかれては、なお一層勉学に励み、立派な中学生として成長されるよう期待しています。

年頭に当たり、町民の皆様のご多幸とご健勝を心からお祈り申し上げます、新年の挨拶とさせていただきます。